

令和 1 年度 事務事業評価シート

事務事業の概要・計画 (PLAN)

事務事業名	老人クラブ育成事業	会計名称	一般会計		担当課	長寿介護課	
		予算科目	3 款 1 項 9 目	事業番号	1310	所属長名	室潤子
事業評価の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 評価対象事業 <input type="checkbox"/> 評価対象外事業 (事業の概要・結果のみ)				担当責任者名	丸本竜士	
法令根拠等	老人福祉法、伊予市老人クラブ育成事業補助金交付要綱				実施期間	【開始】	令和/平成 18 年度
総合計画での位置付け	健康福祉都市の創造 健やかで生きがいの持てる高齢者福祉の実践					【終了】	令和 年度(予定) ■ 設定なし
総合計画における本事業の役割	高齢者が仲間とともに地域活動へ積極的に参加することで、活動する高齢者自身の生きがいにつながり、共に支えあう地域づくりの推進が行なわれる。						
事業の対象	伊予市老人クラブ連合会及び単位老人クラブ			事業の目的	老人クラブの活動を支援することにより、会員の健康と生きがいづくりを図ると共に、地域社会の中で互いに助け合いのできる人間関係を築く。		
事業の内容 (整備内容)	伊予市老人クラブ連合会や市内の老人クラブに対し、申請に基づき会員数に応じた育成補助金を支給する。 老人クラブの社会奉仕活動等の自主的な活動に対し、申請に基づき活動活性化助成金を支給する。			昨年度の課題に対する具体的な改善策			

事業活動の内容・成果 (DO)

事業費及び財源内訳 (千円)							事業活動の実績 (活動指標)					
項目	前年度決算	当初予算額	補正予算額	継続費その他	翌年度繰越	決算額	項目	単位	前年度実績	1年度予定	9月末の実績	1年度実績
直接事業費	4,155	4,189	0	0	0	3,927	伊予地区クラブ (会員) 数	クラブ (人)	23 (1167)	23 (1167)	22 (1162)	22 (1162)
国庫支出金		0	0	0	0	0						
県支出金	147	154	0	0	0	148						
地方債	0	0	0	0	0	0						
その他	0	0	0	0	0	0						
一般財源	4,008	4,035	0	0	0	3,779	中山地区クラブ (会員) 数	クラブ (人)	12 (387)	12 (387)	11 (342)	11 (342)
職員の人工 (にんく) 数	0.45	0.45				0.45						
1人工当たりの人件費単価	7,982	7,992				7,992	双海地区クラブ (会員) 数	クラブ (人)	27 (1232)	27 (1232)	23 (1112)	23 (1112)
※ 直接事業費+人件費	7,747	7,785				7,523						
主な実施主体	直接実施		実施形態 (補助金・指定管理料・委託料等の記載欄)		補助金		合計クラブ (会員) 数	クラブ (人)	62 (2786)	62 (2786)	56 (2616)	56 (2616)
向こう5年間の直接事業費の推移 (千円)					2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	5年間の合計		
					4,200	4,200	4,200	4,200	4,200	21,000		
成果指標	指標	老人クラブ会員数	単位	⇒	区分年度	前 年度	1 年度	2 年度	目標 毎 年度			
			人		目標	3000	3000	3000	3000			
	指標設定の考え方	会員数の増加を目標とし老人クラブ会員数を指標とした。			実績	2786	2616					
	指標で表せない効果	老人クラブ活動内容の充実により、生きがいを持って生活を送る高齢者の増加										

事務事業評価 (CHECK)

新たな課題や当初の改善策に対する対応状況 (今年度の途中経過)		会員の高齢化が進み、クラブの存続が困難との相談が複数寄せられた。									
事務事業評価	自己判定 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	3	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	B	事業成果・工夫した点 事業の苦勞した点・課題	例年、活動活性化事業補助金の交付が3月下旬であり、単位クラブが総会資料を作成するのに苦勞されていたため、活動活性化事業実績報告を一律早めるよう指導したこと、2月下旬に準備を整える事ができた。	
			社会情勢等への対応	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	3					
			市の関与の妥当性	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	3					
		有効性	事業の効果	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	3	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	B			
			成果向上の可能性	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	3					
			施策への貢献度	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	3					
	効率性	手段の最適性	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	3	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	B				
		コスト効率	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	3						
		市民(受益者)負担の適正	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	3						
	一次判定 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	3	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	B	事業の方向性 所屬長の課題認識	<ul style="list-style-type: none"> ■ 事業継続と判断する。 <input type="checkbox"/> 事業縮小と判断する <input type="checkbox"/> 事業廃止と判断する (判断の理由) 高齢者の仲間づくりや健康づくり、生きがいづくりの推進につながる活動であり、継続が必要である。	
			社会情勢等への対応	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	3					
			市の関与の妥当性	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	2					
有効性		事業の効果	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	3	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	B				
		成果向上の可能性	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	3						
		施策への貢献度	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	3						
効率性		手段の最適性	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	3	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	B				
		コスト効率	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	3						
		市民(受益者)負担の適正	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	3						

施策を踏まえた判断	二次判定	<input type="checkbox"/>	一次判定結果は以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を求める。	⇒ 指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進に努め、今年度の事務事業評価シートに反映させること。
		<input checked="" type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断する。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定は以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業縮小と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業廃止と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	既に事業廃止が決定していることから、廃止に向けた手続を行う。	

行政評価委員会の答申	外部評価	答申の内容
<div style="border: 1px solid black; height: 100px;"></div>		

今後の方向性 (ACTION)

の経営者判断会議	事業の方向性	コメント欄	
	<input type="checkbox"/>	さらに重点化する。	<div style="border: 1px solid black; height: 100px;"></div>
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状のまま継続する。	
	<input type="checkbox"/>	見直しの上、継続する。	
	<input type="checkbox"/>	事業の縮小を検討する。 事業を縮小する。	
	<input type="checkbox"/>	事業の休止、廃止を検討する。 事業を休止、廃止する。	